


## 坂ノ市地域まちづくりビジョンフォローアップ会議通信

第5号

この通信は、地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。



### 地域まちづくりビジョンフォローアップ会議とは

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、それぞれの地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取り組みをまとめた「地域まちづくりビジョン」を策定し、平成30年7月に市長に提言されました。「地域まちづくりビジョンフォローアップ会議」は、地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政と一緒にまちづくりを進めるため「地域まちづくりビジョン」に掲げる事業について、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれのテーマにおいて取組状況を確認し、今後の進め方や課題などについて情報共有、意見交換を行うものです。

### 令和5年度坂ノ市地域まちづくりビジョンフォローアップ会議

※日時 令和5年11月21日(火) 10時～  
※場所 坂ノ市市民センター大会議室

《議事》

- (1) 会議の公開について
- (2) 地域まちづくりビジョンについて
- (3) 地域まちづくりビジョンフォローアップ会議について
- (4) 地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況について
- (5) 今後の地域まちづくりビジョンフォローアップ会議について
- (6) 今後の予定について

市議会の令和5年度事務事業評価において、「地域まちづくりビジョンフォローアップ事業」が「改善のうえで継続」と評価されました！

### 住んでよし 来てもよし 自慢だらけの坂ノ市 ~坂ノ市の将来像~



萬弘寺の市「物々交換」



小佐井校区いもほりウォーク



丹生校区ふるさと祭り

## 坂ノ市地域まちづくりビジョン 概要

### 3つの提言

1

坂ノ市地域は、住民同士の関係が密であり、萬弘寺の市など様々な行事を通じた住民交流、子どもや高齢者の見守り体制が構築されている。

このような体制を維持していくためには、次世代を担う若者を交えた地域交流を促進し、コミュニティを活性化させる取組が必要である。

2

地震や津波、古いため池など、様々な自然の脅威に対応するための基盤整備はもとより、未来を担う子どもたちや高齢者の安全を確保するため、道路整備や施設整備の促進、支援を望む。

3

坂ノ市地域は豊かな自然に囲まれ、丹生温泉や佐野植物公園、亀塚古墳などの観光資源や、市外の方々も楽しめる地域伝統行事などが多くある。

これら地域資源をより有効に活用するための取組が必要である。

### 提言に基づき取り組んでいる12の事業

1. 3世代が交流できる事業
2. 公園（広場）をつくりたい
3. 住民と市議会、行政とのコミュニケーションの場づくり
4. 萬弘寺広場で朝市等の開催
5. 子どもの生きる力を養う事業
6. 子どもへの福祉事業
7. 子どもや高齢者の安全を確保する道路や交通網の整備促進
8. 小佐井小学校及び周辺整備事業
9. 坂ノ市の歴史資源を活かすネットワークづくりとイベントの実施
10. 坂ノ市の個店を住民に知ってもらえるマップを作り、地元消費の喚起につなげる
11. 地域の拠り所となる丹生温泉の活用促進
12. 地域交流のできる総合的な施設の充実



※「地域まちづくりビジョン」やフォローアップ会議の内容等については、大分市ホームページに掲載しております。

<https://www.city.oita.oita.jp/o010/kurashi/volunteer/1513231907927.html>



**【事業名】3世代が交流できる事業**

丹生地区では地域づくりの行事が盛んだが、高齢者が中心で進めているので、若者や子どもにもっと地域に積極的に関わってもらいたい。

**【地域】**

・自治会、自治区、校区自治会、まちづくり協議会やPTA、各種団体が主体となり、各地域で様々な活動を行っている。  
コロナ禍の影響から中止になっていた事業が再開してきているが、担い手不足等により厳しい状況もある。

**【行政】**

地域づくり交付金の交付申請に関する支援や、まちづくり協議会の組織運営、事業の実施について助言、サポートを行っている。

事業の取組状況



小佐井校区ふれあいフェスタ



坂ノ市校区ふれあい健康ウォーク

**【出された意見・要望等】**

- ・坂ノ市校区では、5年ぶりに「ふれあい健康ウォーク」を開催。また、地元の神社のお祭りでは、コロナ禍で中止していた太鼓鳴らしを、子どもたちは大人に一生懸命ならいながら練習。盛大に開催することができた。
- ・小佐井校区では、今年度初めて「ふれあいフェスタ」を開催。まちづくり協議会で模索しながら芸能披露や模擬店、ゲームや餅まき等を計画し、多くの人でにぎわった。
- ・丹生校区では、地区にて子ども神楽の練習を行い、「芸能文化祭」で披露。伝統的に先輩方が見つないできた行事を新しいことも取り入れながらつなげていきたい。
- ・子どもたちが楽しめる行事を計画すれば、保護者も子どもたちと一緒に参加することができる。そうすることで地域行事の雰囲気を感じ取ることができ、将来地域活動に携わる時に大事な経験値として残る。



会議では、事務局から坂ノ市地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況を報告し、これをもとに意見交換を行いました。この通信では、事業の取組状況や意見交換等の中から主なものを抜粋して掲載しています。

**【事業名】子どもへの福祉事業**



夜一人で家にいないといけな子どもなどを預けられる場所や、子ども食堂のようなものが必要。

**【地域・個人】**

・市主催の「地域デザインの学校 in 坂ノ市・佐賀関」を受講したメンバーが中心となり、未来応援コミュニティ「b-room (ぶるーむ)」や、「もしも日よけがあったなら……」を立ち上げている。  
b-roomは、高校生のために「家庭でもない学校でもない 第3の居場所」として、令和4年4月1日に開設。放課後の立ち寄りスペースの提供やボランティアなどの体験活動を通して、人とつながり、活躍できる場を提供している。

**【行政】**

老人クラブ等が運営主体となり、公民館等で、子ども及びその親、学生等と一緒に多世代交流を目的とする活動（食事の提供・学習支援・美化活動）に対して補助金を交付しており、令和4年度は5団体が、当事業に取り組んでいる。

事業の取組状況



未来応援コミュニティ「b-room」

**【事業名】公園（広場）をつくりたい**



廃止したため池用の土地（2100坪）があるので、スポーツができる広場として活用したい。

**【地域・個人】**

・“まちづくりビジョン会議”を設置。そのなかで協議を重ね、事業等の情報の共有を図っている。広場については、対象となる用地はあるものの、使用目的について有識者による検討が進められている。

**【行政】**

坂ノ市地区には日吉原緑地のほか、近隣に松原緑地内の運動施設、大在東グラウンド及び都市公園内のグラウンド等があり、スポーツ施設は充実しているものと考えている。

事業の取組状況

**【出された意見・要望等】**

- ・現時点では、すでに公園は適度に配置されているため、市が新たに公園を設置することはできない状況。
- ・専門的な見地から、廃止したため池の土地は生物多様性の湿地として非常に関心の高い場所。
- ・日本文理大学生と大分東高校生が連携して、ドローン撮影や公園の地形模型の作成等の調査研究に課外活動で取り組んでいる。
- ・今後も、学生が地域のために活躍できる場をもっと増やしていきたい。



高校生と大学生の課外活動の様子

**【事業名】坂ノ市の歴史資源を活かすネットワークづくりとイベントの実施**



各校区の歴史を調査し、意見交換したり、地域の史跡を歩いて回るイベントを実施したりする。⇒健康づくりにもつながる。

**【地域・個人】**

- ・地域の歴史愛好家等が集まって、坂ノ市地区郷土史愛好会や丹生郷土史愛好会などを結成し活動している。
- ・丹生校区では、健康ウォークと地域の史跡巡りを合わせた「史跡巡り健康ウォーキング」を実施するほか、丹生郷土史愛好会が、丹生校区の歴史を記した「丹生村史」続編の編集と歴史散策集を6月に「丹生の郷散策ハンドブック」として発行した。
- ・県下最大の前方後円墳である亀塚古墳を舞台に開催される「海部のまつり」で、ボランティアとして協力している。

**【行政】**

- ・継承者の育成については、校区の歴史等に興味がある方などを、校区公民館での勉強会や歴史愛好会などのグループへ紹介し、人材育成を図っている。
- ・令和4年度は、坂ノ市公民館で「坂ノ市歴史講座」を5回講座で開催し、坂ノ市地区を中心にした歴史について講話を聞いた。令和5年度は、5回講座で開催し、坂ノ市の歴史継承に努めている。



丹生校区史跡巡り健康ウォーキング



海部のまつり

**【出された意見・要望等】**

- ・坂ノ市は、大変歴史資源が多い地区である。これを活用するととてもよい歴史散策ルートができると思うが、案内人となる人達が高齢となっていることが大きな問題。昭和62年から発刊している「白水郎（あま）」には様々な研究が掲載されている。つなげていきたい。
- ・「海部のまつり」は大在地区主導となっているが、地元の祭りなので盛り上げたい。